

2 患者数

調査日に県内の調査対象施設で受療した患者数は、63,412人で、これは県民45人に1人が受療したことになる。

(1) 医療施設の種別別にみた患者数 (表2)

医療施設の種別別に患者数をみると、精神科病院4,521人(患者総数の7.1%)、一般病院52,339人(同82.5%)で、病床を有する一般診療所は6,552人(同10.3%)である。

次に入院・外来別にみると入院患者では21,666人のうち精神科病院3,217人(入院患者総数の14.8%)、一般病院17,895人(同82.6%)で、病床を有する一般診療所は、554人(同2.6%)である。

外来患者は、41,746人のうち精神科病院1,304人(外来患者総数の3.1%)、一般病院34,444人(同82.5%)で、病床を有する一般診療所は、5,998人(同14.4%)である。

表2 入院 - 外来・医療施設の種別別にみた患者数と構成割合

	患者数(人)			構成割合(%)					
				医療施設種別			入院・外来		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	63,412	21,666	41,746	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	34.2%	65.8%
精神科病院	4,521	3,217	1,304	7.1%	14.8%	3.1%	100.0%	71.2%	28.8%
一般病院	52,339	17,895	34,444	82.5%	82.6%	82.5%	100.0%	34.2%	65.8%
病床を有する 一般診療所	6,552	554	5,998	10.3%	2.6%	14.4%	100.0%	8.5%	91.5%

(2) 性・年齢階級別にみた患者数 (表3)

性別に患者数の構成割合をみると、男性は29,802人(患者総数の47.0%)、女性は33,606人(同53.0%)と女性が多い。

これを入院・外来別にみると、入院患者では、男性が10,407人(入院患者総数の48.0%)、女性が11,256人(同52.0%)、外来患者では、男性が19,395人(外来患者総数の46.5%)、女性が22,350人(同53.5%)といずれも女性が多い。

また、年齢階級別にみると、80歳以上が15,942人(患者総数の25.1%)と最も多く、次いで、70~74歳が8,578人(同13.5%)、75~79歳が7,448人(同11.7%)の順となっている。

なお、65歳以上の患者数は、37,910人で患者総数の59.8%を占めている。

表3 入院 - 外来・性・年齢階級別にみた患者数と構成割合

性・年齢階級	患者数(人)			構成割合(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	63,412	21,666	41,746	100.0%	100.0%	100.0%
男	29,802	10,407	19,395	47.0%	48.0%	46.5%
女	33,606	11,256	22,350	53.0%	52.0%	53.5%
性別不詳	4	3	1	0.0%	0.0%	0.0%
0~4	1,403	264	1,139	2.2%	1.2%	2.7%
5~9	800	76	724	1.3%	0.4%	1.7%
10~14	730	67	663	1.2%	0.3%	1.6%
15~19	766	133	633	1.2%	0.6%	1.5%
20~24	951	177	774	1.5%	0.8%	1.9%
25~29	1,446	279	1,167	2.3%	1.3%	2.8%
30~34	1,763	344	1,419	2.8%	1.6%	3.4%
35~39	1,975	371	1,604	3.1%	1.7%	3.8%
40~44	2,059	410	1,649	3.2%	1.9%	4.0%
45~49	2,752	651	2,101	4.3%	3.0%	5.0%
50~54	3,279	905	2,374	5.2%	4.2%	5.7%
55~59	3,337	993	2,344	5.3%	4.6%	5.6%
60~64	4,169	1,341	2,828	6.6%	6.2%	6.8%
65~69	5,942	1,941	4,001	9.4%	9.0%	9.6%
70~74	8,578	2,812	5,766	13.5%	13.0%	13.8%
75~79	7,448	2,615	4,833	11.7%	12.1%	11.6%
80歳以上	15,942	8,261	7,681	25.1%	38.1%	18.4%
年齢不詳	72	26	46	0.1%	0.1%	0.1%
65歳以上(再掲)	37,910	15,629	22,281	59.8%	72.1%	53.4%
70歳以上(再掲)	31,968	13,688	18,280	50.4%	63.2%	43.8%
75歳以上(再掲)	23,390	10,876	12,514	36.9%	50.2%	30.0%

(3) 傷病大分類にみた患者数 (表4)

傷病大分類にみると、「循環器系の疾患」が9,566人で患者総数の15.1%を占め、最も多い。続いて「精神及び行動の障害」6,525人(患者総数の10.3%)、「新生物」6,087人(同9.6%)の順になっている。

これを入院・外来別にみると入院では「精神及び行動の障害」が4,490人で入院患者総数の20.7%を占め、最も多い。続いて「循環器系の疾患」3,869人(入院患者総数の17.9%)、「新生物」2,197人(同10.1%)の順になっている。

また、外来では、「循環器系の疾患」が5,697人で外来患者総数の13.6%を占め、最も多い。続いて「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」4,371人(同10.5%)、「腎尿路生殖器系の疾患」4,318人(同10.3%)の順になっている。

表4 傷病大分類にみた患者数・構成割合と順位

傷病大分類	患者数			構成割合と順位					
	総数	入院	外来	総数		入院		外来	
				率	順位	入院率	順位	外来率	順位
総数	63,412	21,666	41,746	100.0	-	100.0	-	100.0	-
I 感染症及び寄生虫症	1,168	402	766	1.8	15	1.9	11	1.8	15
結核(再掲)	47	29	18	0.1	-	0.1	-	0.0	-
II 新生物	6,087	2,197	3,890	9.6	3	10.1	3	9.3	5
胃の悪性新生物(再掲)	394	197	197	0.6	-	0.9	-	0.5	-
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	788	329	459	1.2	-	1.5	-	1.1	-
気管, 気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	592	315	277	0.9	-	1.5	-	0.7	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	495	159	336	0.8	18	0.7	17	0.8	18
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,114	479	2,635	4.9	10	2.2	10	6.3	7
糖尿病(再掲)	1,807	247	1,560	2.8	-	1.1	-	3.7	-
V 精神及び行動の障害	6,525	4,490	2,035	10.3	2	20.7	1	4.9	9
統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	3,617	2,938	679	5.7	-	13.6	-	1.6	-
VI 神経系の疾患	2,649	1,414	1,235	4.2	11	6.5	6	3.0	13
VII 眼及び付属器の疾患	2,352	223	2,129	3.7	12	1.0	14	5.1	8
VIII 耳及び乳様突起の疾患	369	32	337	0.6	19	0.1	21	0.8	17
IX 循環器系の疾患	9,566	3,869	5,697	15.1	1	17.9	2	13.6	1
高血圧性疾患(再掲)	2,668	100	2,568	4.2	-	0.5	-	6.2	-
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	2,970	1,164	1,806	4.7	-	5.4	-	4.3	-
脳血管疾患(再掲)	3,288	2,385	903	5.2	-	11.0	-	2.2	-
X 呼吸器系の疾患	3,317	1,543	1,774	5.2	9	7.1	5	4.2	11
肺炎(再掲)	831	765	66	1.3	-	3.5	-	0.2	-
X I 消化器系の疾患	4,115	1,335	2,780	6.5	7	6.2	7	6.7	6
肝疾患(再掲)	351	121	230	0.6	-	0.6	-	0.6	-
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1,426	223	1,203	2.2	14	1.0	14	2.9	14
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,128	1,143	3,985	8.1	5	5.3	8	9.5	4
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	5,288	970	4,318	8.3	4	4.5	9	10.3	3
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	536	328	208	0.8	17	1.5	12	0.5	19
X VI 周産期に発生した病態	134	95	39	0.2	21	0.4	19	0.1	21
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	302	94	208	0.5	20	0.4	20	0.5	19
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,524	252	1,272	2.4	13	1.2	13	3.0	12
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,926	2,072	1,854	6.2	8	9.6	4	4.4	10
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,530	159	4,371	7.1	6	0.7	17	10.5	2
不詳	861	187	674	1.4	16	0.9	16	1.6	16

(4) 受診経路別にみた患者数 (表5・表6)

受診経路別に患者数をみると病院からの紹介によるもの8,415人(患者総数の13.3%)、一般診療所からの紹介によるもの3,213人(同5.1%)、歯科診療所からの紹介によるもの51人(同0.1%)、介護老人保健施設からの紹介によるもの696人(同1.1%)、介護老人福祉施設からの紹介によるもの587人(同0.9%)、その他からの紹介によるもの2,524人(同4.0%)、紹介のないもの43,033人(同67.9%)となっている。

これを入院・外来別にみると、病院からの紹介によるものは、入院患者6,653人(当該紹介患者の79.1%)、外来患者1,762人(同20.9%)であり、一般診療所からの紹介によるものは入院患者1,779人(当該紹介患者の55.4%)、外来患者1,434人(同44.6%)で、介護老人保健施設からの紹介によるものは入院患者665人(当該紹介患者の96.5%)、外来患者31人(同4.5%)、その他からの紹介によるものは入院患者1,430人(当該紹介患者の58.5%)、外来患者1,094人(同43.3%)である。

また、紹介のないものは入院患者9,835人(当該患者の22.9%)、外来患者33,198人(同77.1%)となっている。

さらに、傷病大分類別にみると病院からの紹介で多いものは、「循環器系の疾患」1,992人(当該紹介患者の23.7%)、「精神及び行動の障害」1,474人(同17.5%)、「新生物」965人(同11.5%)などであり、一般診療所からの紹介では、「新生物」531人(当該紹介患者の16.5%)、「循環器系の疾患」385人(同12.0%)、「精神及び行動の障害」278人(同8.7%)である。

表5 受診経路別にみた入院 - 外来患者数と構成割合

	患者数(人)			構成割合(%)			入院-外来(%)		
	総数	入院	外来	総数	入院	外来	総数	入院	外来
総数	63,412	21,666	41,746	100.0	100.0	100.0	100.0	34.2	65.8
病院からの紹介	8,415	6,653	1,762	13.3	30.7	4.2	100.0	79.1	20.9
一般診療所からの紹介	3,213	1,779	1,434	5.1	8.2	3.4	100.0	55.4	44.6
歯科診療所からの紹介	51	15	36	0.1	0.1	0.1	100.0	29.4	70.6
介護老人保健施設からの紹介	696	665	31	1.1	3.1	0.1	100.0	95.5	4.5
介護老人福祉施設からの紹介	587	549	38	0.9	2.5	0.1	100.0	93.5	6.5
その他からの紹介	2,524	1,430	1,094	4.0	6.6	2.6	100.0	56.7	43.3
紹介なし	43,033	9,835	33,198	67.9	45.4	79.5	100.0	22.9	77.1

表6 受診経路別にみた傷病大分類別の順位

	順位	傷病大分類	患者数(人)	構成割合(%)
病院からの紹介	1位	IX 循環器系の疾患	1,992	23.7
	2位	V 精神及び行動の障害	1,474	17.5
	3位	II 新生物	965	11.5
	4位	XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	732	8.7
	5位	VI 神経系の疾患	688	8.2
一般診療所からの紹介	1位	II 新生物	531	16.5
	2位	IX 循環器系の疾患	385	12.0
	3位	V 精神及び行動の障害	278	8.7
	4位	XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	263	8.2
	5位	XI 消化器系の疾患	254	7.9
歯科診療所からの紹介	1位	XI 消化器系の疾患	37	72.5
	2位	II 新生物	3	5.9
	2位	X 呼吸器系の疾患	3	5.9
介護老人保健施設からの紹介	1位	IX 循環器系の疾患	180	25.9
	2位	X 呼吸器系の疾患	149	21.4
	3位	V 精神及び行動の障害	66	9.5
	4位	XI 消化器系の疾患	50	7.2
	5位	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	48	6.9
介護老人福祉施設からの紹介	1位	X 呼吸器系の疾患	159	27.1
	2位	IX 循環器系の疾患	99	16.9
	3位	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	52	8.9
	4位	V 精神及び行動の障害	49	8.3
	5位	VI 神経系の疾患	46	7.8
その他からの紹介	1位	V 精神及び行動の障害	686	27.2
	2位	II 新生物	261	10.3
	3位	VI 神経系の疾患	257	10.2
	4位	IX 循環器系の疾患	190	7.5
	5位	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	188	7.4
紹介なし	1位	IX 循環器系の疾患	5,994	13.9
	2位	XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,163	9.7
	3位	V 精神及び行動の障害	3,875	9.0
	4位	XIV 腎尿路生殖器系の疾患	3,861	9.0
	5位	XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	3,857	9.0

3 受療率

県内の受療率（人口10万に対する患者数）は2,212である。
これを入院・外来別にみると、入院756、外来1,456となっている。

(1) 性・年齢階級別にみた受療率（図1・表7）

性別に受療率をみると、男性2,083、女性2,340と女性が多い。

年齢階級別にみると、15～19歳が最も低く、年齢が高くなるにしたがって受療率は高くなり、80歳以上では6,385と最も高くなっている。さらに性・年齢階級別にみると、0～14歳、55歳以上は男性が多い。

入院・外来別にみると、入院患者では、男性が727、女性が784、外来患者では、男性が1,355、女性が1,556といずれも女性が多い。

図1 性・年齢階級別にみた受療率

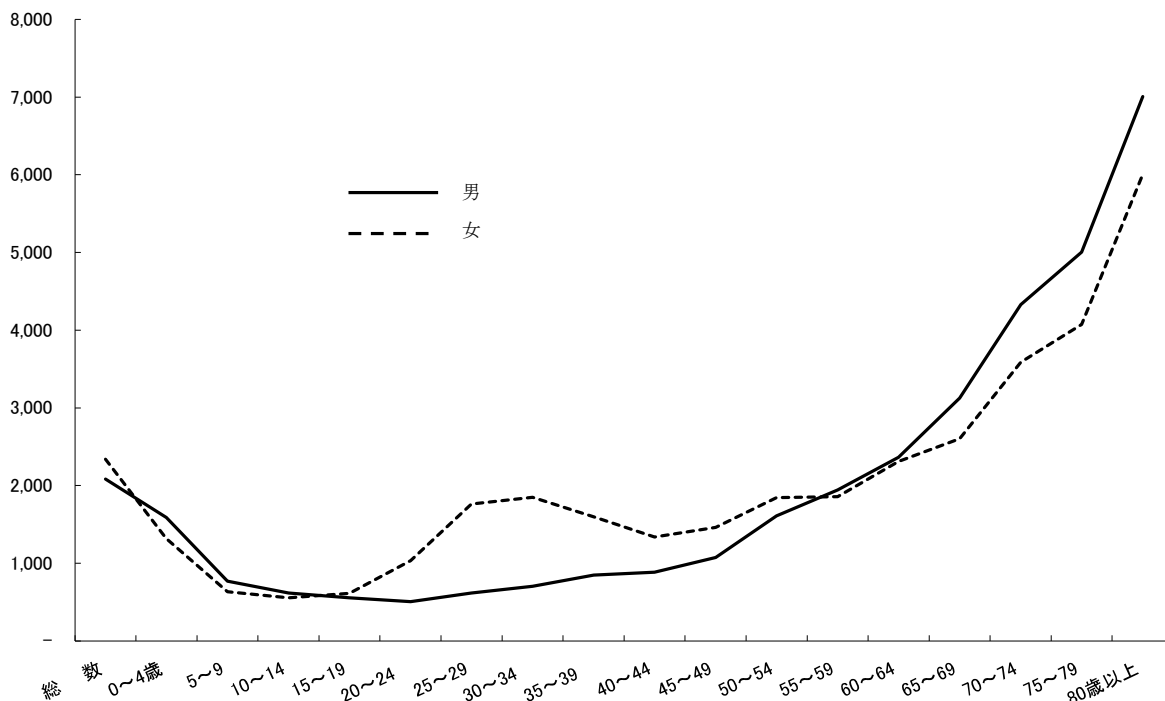


表7 入院 - 外来・性・年齢階級別にみた受療率

	総数			入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	2,212	2,083	2,340	756	727	784	1,456	1,355	1,556
0～4歳	1,457	1,588	1,320	274	323	223	1,183	1,265	1,097
5～9	704	769	636	67	58	76	637	710	560
10～14	589	619	558	54	52	56	535	568	501
15～19	584	555	615	101	96	107	483	459	508
20～24	754	510	1,035	140	110	175	614	400	859
25～29	1,140	617	1,762	220	126	331	920	491	1,430
30～34	1,241	706	1,848	242	173	320	999	532	1,528
35～39	1,208	847	1,599	227	194	263	981	653	1,337
40～44	1,103	885	1,339	220	226	213	884	660	1,126
45～49	1,262	1,077	1,463	299	291	306	964	786	1,157
50～54	1,724	1,610	1,847	476	533	414	1,248	1,076	1,432
55～59	1,902	1,946	1,856	566	679	451	1,336	1,267	1,406
60～64	2,338	2,366	2,310	752	828	675	1,586	1,537	1,635
65～69	2,860	3,128	2,602	934	1,099	776	1,926	2,029	1,826
70～74	3,944	4,328	3,587	1,293	1,532	1,070	2,651	2,796	2,516
75～79	4,515	5,006	4,073	1,585	1,761	1,426	2,929	3,245	2,646
80歳以上	6,385	7,007	6,006	3,309	3,317	3,303	3,076	3,690	2,703
65歳以上(再掲)	4,514	4,812	4,267	1,861	1,907	1,822	2,653	2,905	2,445
70歳以上(再掲)	5,057	5,432	4,764	2,165	2,205	2,134	2,892	3,227	2,630
75歳以上(再掲)	5,641	6,104	5,311	2,623	2,615	2,628	3,018	3,489	2,682

(2) 傷病大分類にみた受療率 (図2・表8)

傷病大分類に受療率をみると、「循環器系の疾患」(334)が高く、次いで「精神及び行動の障害」、「新生物」、「腎尿路生殖器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順になっている。

性別にみると、男性は「循環器系の疾患」(336)が最も高く、次いで「精神及び行動の障害」、「新生物」、「腎尿路生殖器系の疾患」、「消化器系の疾患」の順であり、女性は「循環器系の疾患」(331)が最も高く、次いで「精神及び行動の障害」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「新生物」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」の順となっている。

入院・外来別にみると入院は、「精神及び行動の障害」(157)が最も多く、次いで「循環器系の疾患」、「新生物」の順であり、外来は、「循環器系の疾患」(199)が最も高く、次いで「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「腎尿路生殖器系の疾患」の順となっている。

図2 性・傷病大分類にみた受療率

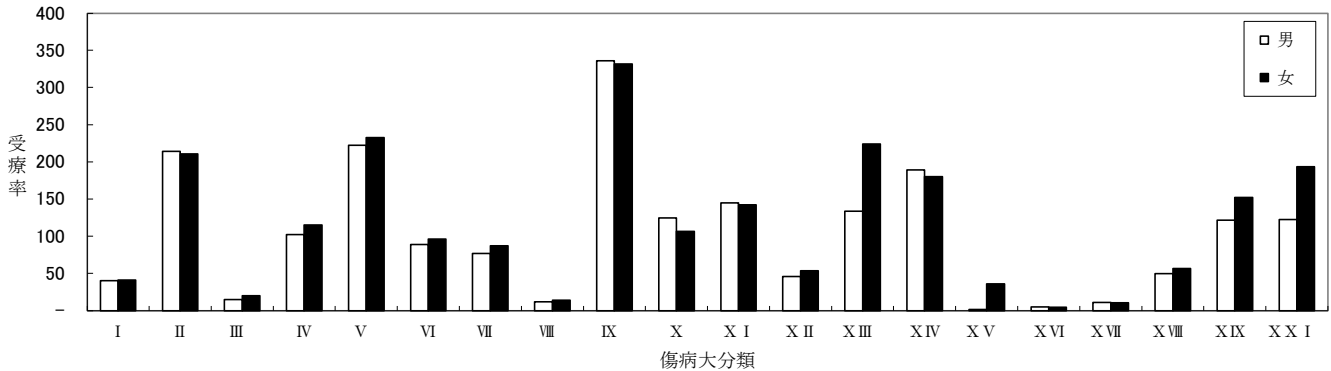


表8 性・傷病大分類にみた受療率

傷病大分類	総数			入院			外来		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	2,212	2,083	2,340	756	727	784	1,456	1,355	1,556
I 感染症及び寄生虫症 結核(再掲)	41 2	40 1	41 2	14 1	14 1	14 1	27 1	26 1	27 1
II 新生物 胃の悪性新生物(再掲) 結腸及び直腸の悪性新生物(再掲) 気管, 気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	212 14 27 21	214 18 32 29	211 9 23 12	77 7 11 11	91 9 14 16	63 4 9 6	136 7 16 10	123 9 18 13	148 5 14 6
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17	15	20	6	6	5	12	9	14
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患 糖尿病(再掲)	109 63	102 71	115 55	17 9	16 9	18 8	92 54	87 62	97 47
V 精神及び行動の障害 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	228 126	222 127	233 125	157 102	156 105	157 100	71 24	66 22	75 25
VI 神経系の疾患	92	89	96	49	45	53	43	43	43
VII 眼及び付属器の疾患	82	77	87	8	7	8	74	70	79
VIII 耳及び乳様突起の疾患	13	12	14	1	1	1	12	11	13
IX 循環器系の疾患 高血圧性疾患(再掲) 心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲) 脳血管疾患(再掲)	334 93 104 115	336 85 111 116	331 101 96 113	135 3 41 83	130 2 38 81	140 5 43 85	199 90 63 31	206 82 73 35	192 97 53 28
X 呼吸器系の疾患 肺炎(再掲)	116 29	125 30	107 28	54 27	60 28	47 25	62 2	64 2	59 2
XI 消化器系の疾患 肝疾患(再掲)	144 12	145 13	142 12	47 4	50 5	43 4	97 8	95 8	99 8
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	50	46	54	8	7	9	42	39	45
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	179	134	224	40	31	49	139	103	175
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	184	189	180	34	35	33	151	154	147
XV 妊娠, 分娩及び産じょく	19	2	36	11	1	22	7	1	14
XVI 周産期に発生した病態	5	5	5	3	4	3	1	1	2
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常	11	11	10	3	4	3	7	7	7
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	53	50	57	9	6	11	44	43	46
XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	137	122	152	72	57	88	65	65	65
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	158	123	193	6	2	9	152	120	184

4 受療動向

(1) 入院患者の受療動向（一般病床および療養病床）

ア 自足の状況（図3・表9）

入院患者の自足率が50%以上の市町村をみると、結城市、日立市など4市が70%以上となっており、自足率50%以上の市町村数は、18市町村となっている。

また、自足率が50%に満たない市町村は、26市町村あり、そのうちかすみがうら市、城里町、鉾田市は20%未満となっている。なお、潮来市など7市町は、調査対象となる医療施設がないため、自足率は0となっている。

さらに医療圏別の受療状況をみると日立保健医療圏が90.2%と最も自足率が高く、以下、水戸保健医療圏が85.4%、古河・坂東保健医療圏が78.9%の順となっている。

但し、県内医療機関で受診した患者を調査客体としているため、県外医療機関で受診した患者については考慮されていない点に留意されたい。

図3 自足率（一般病床および療養病床における入院患者）

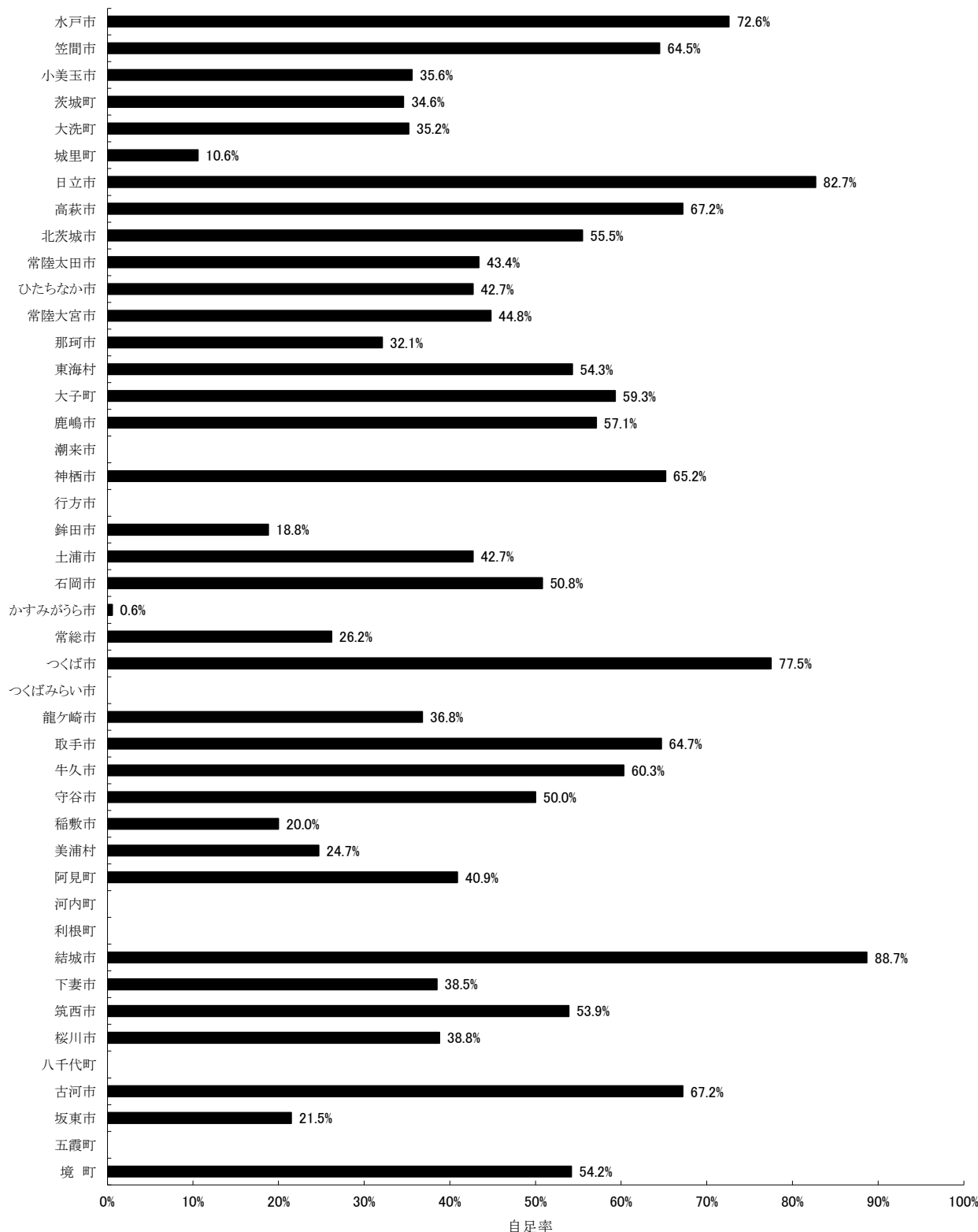


表9 一般病床及び療養病床における入院患者の医療圏別受療状況

【入院患者数】

(単位：人)

住 所 地	施 設 所 在 地									総 数
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	
水戸保健医療圏	2,238	16	116	8	153	48	18	23	-	2,620
日立保健医療圏	63	1,477	75	-	2	12	8	-	-	1,637
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	558	144	1,295	2	9	33	1	4	-	2,046
鹿行保健医療圏	214	3	16	869	164	48	66	3	-	1,383
土浦保健医療圏	85	1	13	4	694	243	191	3	-	1,234
つくば保健医療圏	13	-	9	-	41	1,071	334	20	3	1,491
取手・竜ヶ崎保健医療圏	20	1	5	7	106	348	1,784	4	-	2,275
筑西・下妻保健医療圏	30	1	8	-	13	321	18	1,000	25	1,416
古河・坂東保健医療圏	3	-	1	-	3	132	57	28	836	1,060
県内(市町村不詳)	71	1	8	-	-	8	25	-	-	113
県 内	3,295	1,644	1,546	890	1,185	2,264	2,502	1,085	864	15,275
県 外	69	39	41	134	31	87	168	211	207	987
住 所 地 不 詳	-	2	43	-	1	1	-	2	-	49
総 数	3,364	1,685	1,630	1,024	1,217	2,352	2,670	1,298	1,071	16,311

【自足率・依存率】

(単位：%)

住 所 地	施 設 所 在 地									総 数
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	
水戸保健医療圏	85.4%	0.6%	4.4%	0.3%	5.8%	1.8%	0.7%	0.9%	0.0%	100.0%
日立保健医療圏	3.8%	90.2%	4.6%	0.0%	0.1%	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	100.0%
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	27.3%	7.0%	63.3%	0.1%	0.4%	1.6%	0.0%	0.2%	0.0%	100.0%
鹿行保健医療圏	15.5%	0.2%	1.2%	62.8%	11.9%	3.5%	4.8%	0.2%	0.0%	100.0%
土浦保健医療圏	6.9%	0.1%	1.1%	0.3%	56.2%	19.7%	15.5%	0.2%	0.0%	100.0%
つくば保健医療圏	0.9%	0.0%	0.6%	0.0%	2.7%	71.8%	22.4%	1.3%	0.2%	100.0%
取手・竜ヶ崎保健医療圏	0.9%	0.0%	0.2%	0.3%	4.7%	15.3%	78.4%	0.2%	0.0%	100.0%
筑西・下妻保健医療圏	2.1%	0.1%	0.6%	0.0%	0.9%	22.7%	1.3%	70.6%	1.8%	100.0%
古河・坂東保健医療圏	0.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	12.5%	5.4%	2.6%	78.9%	100.0%
県 内	21.6%	10.8%	10.1%	5.8%	7.8%	14.8%	16.4%	7.1%	5.7%	100.0%
県 外	7.0%	4.0%	4.2%	13.6%	3.1%	8.8%	17.0%	21.4%	21.0%	100.0%

イ 依存の状況 (表10・図4)

特定の市町村への依存率の高い市町村をみると、五霞町から古河市への依存率が80.0%と最も高く、次いで、かすみがうら市から土浦市への依存率が54.8%、潮来市から鹿嶋市への依存率が53.6%、常総市からつくば市への依存率が48.7%、下妻市からつくば市への依存率45.7%の順となっており、特定の市町村への依存率が30%を超える市町村は15市町村となっている。

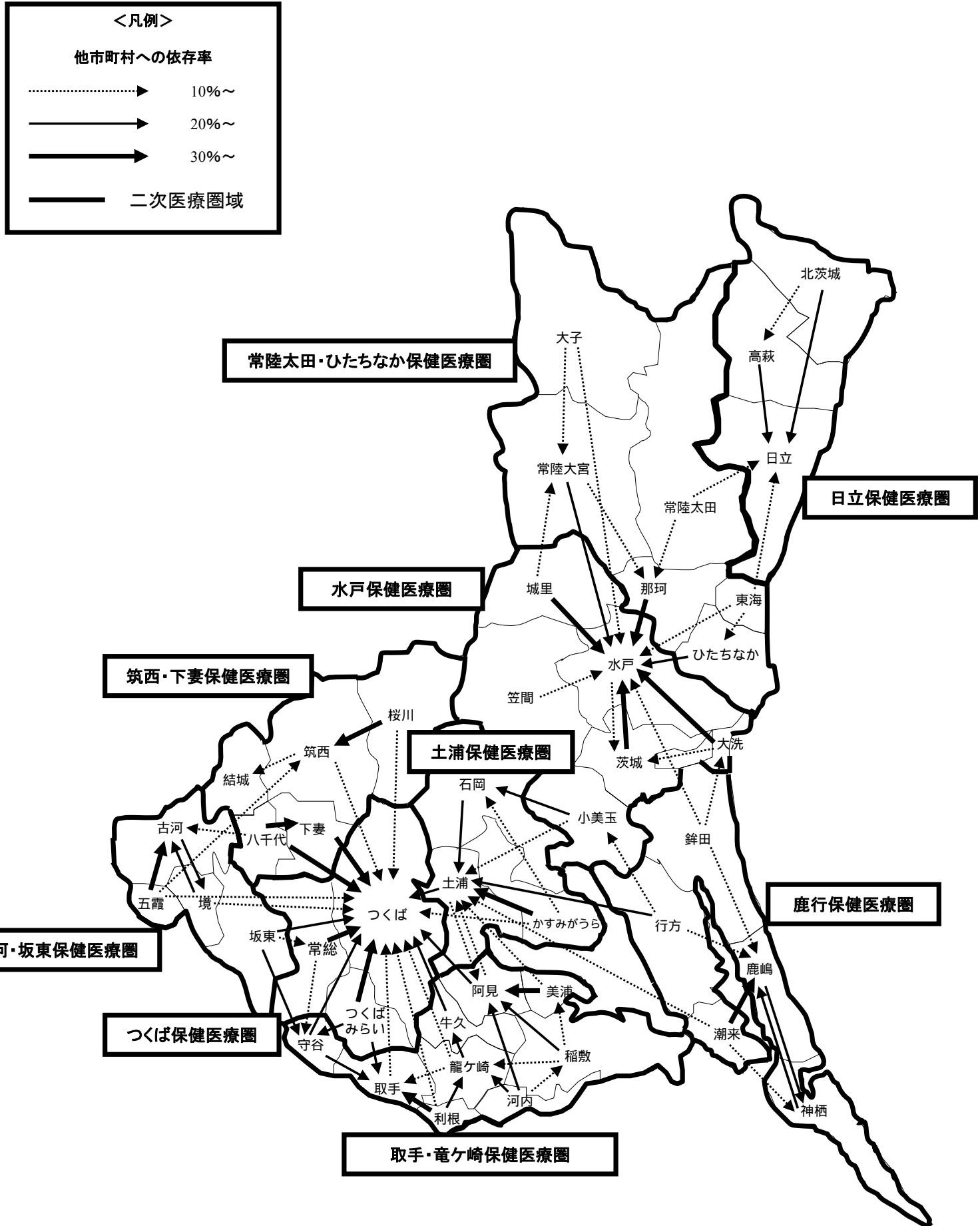
なお、特定の市町村への依存率の状況は図4のとおりである。

表10 特定の他市町村への依存率が高い市町村

(単位：%)

特定の市町	依存率が30%以上の市町村
水 戸 市 (4)	茨 城 町 (42.9) 城 里 町 (42.4) 那 珂 市 (33.6) 大 洗 町 (33.3)
鹿 嶋 市 (1)	潮 来 市 (53.6)
土 浦 市 (1)	か す み が う ら 市 (54.8)
つ く ば 市 (4)	常 総 市 (48.7) 下 妻 市 (45.7) 八 千 代 町 (41.9) つ く ば み ら い 市 (39.6)
取 手 市 (1)	利 根 町 (40.5)
阿 見 町 (1)	美 浦 村 (37.7)
下 妻 市 (1)	八 千 代 町 (32.6)
筑 西 市 (1)	桜 川 市 (31.8)
古 河 市 (1)	五 霞 町 (80.0)

図4 一般および療養病床における入院患者の受療動向



(2) 外来患者の受療動向

ア 自足の状況 (図5・表11)

外来患者の自足率が50%以上の市町村をみると、日立市、結城市、つくば市、水戸市が80%以上、取手市、古河市など4市町が70%以上となっており、自足率50%以上の市町村数は、26市町村となっている。

また、自足率が50%に満たない市町村は、18市町あり、そのうち大洗町など4市町は20%未満となっている。なお、潮来市など6市町は、調査対象となる医療施設がないため、自足率は0となっている。

さらに医療圏別の受療状況をみると日立保健医療圏が89.4%と最も自足率が高く、以下、古河・坂東保健医療圏が85.7%、水戸保健医療圏が84.2%の順となっている。

但し、県内医療機関で受診した患者を調査客体としているため、県外医療機関で受診した患者については考慮されていない点に留意されたい。

図5 自足率(外来患者)

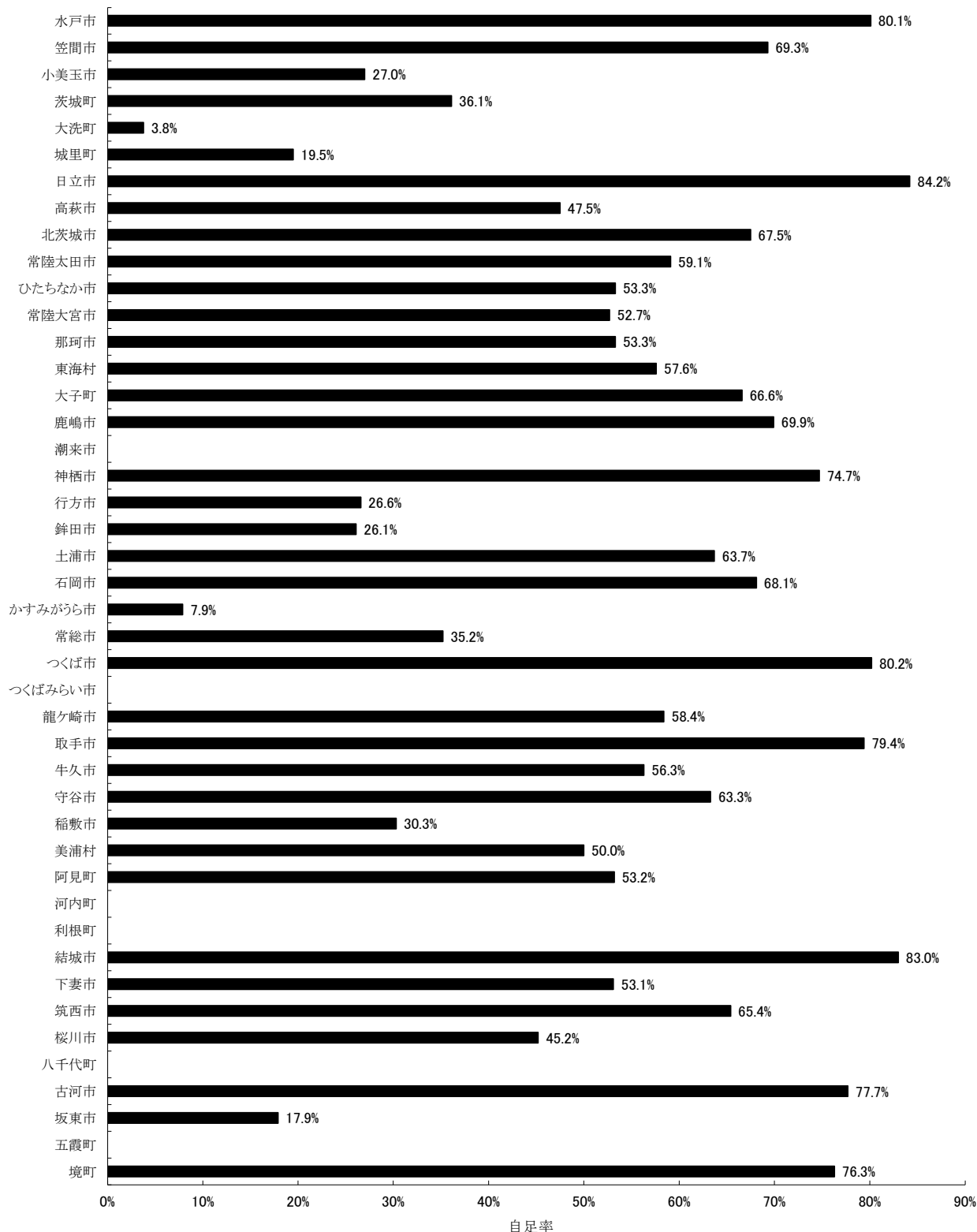


表 1 1 外来患者の医療圏別受療状況

【外来患者数】

(単位：人)

住 所 地	施 設 所 在 地									
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	総 数
水戸保健医療圏	5,870	32	292	11	622	110	17	20	1	6,975
日立保健医療圏	199	3,295	158	2	3	25	2	-	-	3,684
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	1,435	209	4,428	2	12	55	6	1	1	6,149
鹿行保健医療圏	359	2	36	3,040	455	84	86	-	-	4,062
土浦保健医療圏	211	1	6	3	3,097	465	258	11	3	4,055
つくば保健医療圏	27	1	4	3	116	2,519	673	26	32	3,401
取手・竜ヶ崎保健医療圏	25	1	4	12	313	725	4,719	4	-	5,803
筑西・下妻保健医療圏	85	-	2	3	25	472	20	2,247	160	3,014
古河・坂東保健医療圏	9	-	-	-	4	254	120	45	2,590	3,022
県内(市町村不詳)	29	2	3	1	9	70	-	1	12	127
県 内	8,249	3,543	4,933	3,077	4,656	4,779	5,901	2,355	2,799	40,292
県 外	89	64	78	127	52	163	208	165	456	1,402
住所 地 不 詳	15	1	10	3	3	12	3	4	1	52
総 数	8,353	3,608	5,021	3,207	4,711	4,954	6,112	2,524	3,256	41,746

【自足率・依存率】

(単位：%)

住 所 地	施 設 所 在 地									
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	総 数
水戸保健医療圏	84.2	0.5	4.2	0.2	8.9	1.6	0.2	0.3	0.0	100.0
日立保健医療圏	5.4	89.4	4.3	0.1	0.1	0.7	0.1	-	-	100.0
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	23.3	3.4	72.0	0.0	0.2	0.9	0.1	0.0	0.0	100.0
鹿行保健医療圏	8.8	0.0	0.9	74.8	11.2	2.1	2.1	-	-	100.0
土浦保健医療圏	5.2	0.0	0.1	0.1	76.4	11.5	6.4	0.3	0.1	100.0
つくば保健医療圏	0.8	0.0	0.1	0.1	3.4	74.1	19.8	0.8	0.9	100.0
取手・竜ヶ崎保健医療圏	0.4	0.0	0.1	0.2	5.4	12.5	81.3	0.1	-	100.0
筑西・下妻保健医療圏	2.8	-	0.1	0.1	0.8	15.7	0.7	74.6	5.3	100.0
古河・坂東保健医療圏	0.3	-	-	-	0.1	8.4	4.0	1.5	85.7	100.0
県 内	20.5	8.8	12.2	7.6	11.6	11.9	14.6	5.8	6.9	100.0
県 外	6.3	4.6	5.6	9.1	3.7	11.6	14.8	11.8	32.5	100.0

イ 依存の状況 (表 1 2 ・ 図 6)

特定の市町村への依存率の高い市町村をみると、五霞町から境町への依存率が64.8%と最も高く、次いで、大洗町から水戸市への依存率が61.8%、かすみがうら市から土浦市への依存率59.1%、潮来市から鹿嶋市への依存率が50.4%、小美玉市から石岡市への依存率が50.4%の順となっており、特定の市町村への依存率が30%を超える市町村は15市町となっている。

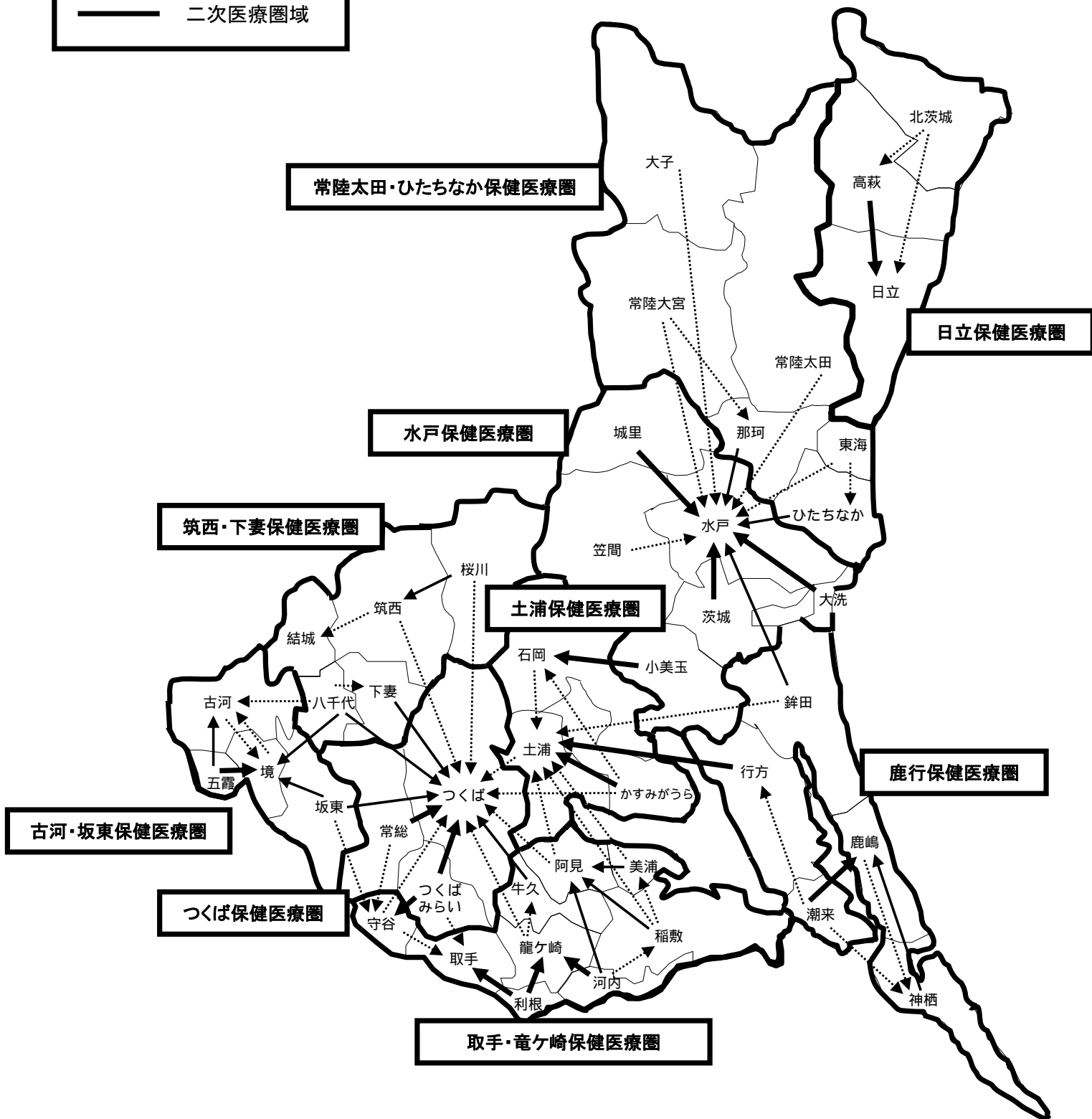
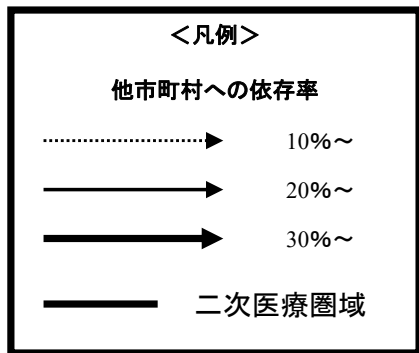
なお、特定の市町村への依存率の状況は図6のとおりである。

表 1 2 特定の他市町村への依存率が高い市町村

(単位：%)

特定の市町	依存率が30%以上の市町
水 戸 市 (3)	大 洗 町 (61.8) 茨 城 町 (47.5) 城 里 町 (47.4)
日 立 市 (1)	高 萩 市 (39.8)
鹿 嶋 市 (1)	潮 来 市 (50.4)
土 浦 市 (2)	か す み が う ら 市 (59.1) 行 方 市 (32.9)
石 岡 市 (1)	小 美 玉 市 (50.4)
つ く ば 市 (2)	つ く ば み ら い 市 (43.0) 常 総 市 (40.2)
龍 ヶ 崎 市 (2)	利 根 町 (38.8) 河 内 町 (31.4)
取 手 市 (1)	利 根 町 (36.8)
守 谷 市 (1)	つ く ば み ら い 市 (30.6)
境 町 (1)	五 霞 町 (64.8)

図6 外来患者の受療動向



(3) 県外からの受療動向 (表13)

県外からの受療は、総数で2,806人(患者総数の4.4%)であり、入院患者は1,404人(入院患者総数の6.5%)。このうち一般病床入院患者は、586人(一般病床入院患者総数の4.6%)で、療養病床入院患者は401人(療養病床入院患者総数の10.8%)となっている。

また、外来の患者は1,402人(外来患者総数の3.4%)となっている。

患者の内訳としては、千葉県が803人(県外患者総数の28.6%)と最も多く、次いで、栃木県690人(同24.6%)、埼玉県496人(同17.7%)、東京都353人(同12.6%)の順となっている。

表13 県外からの受療動向

(単位:人)

区分	患者数 総数	県内所在地		県外所在地								住所地 不詳
		市町村 不明		福島	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	その他		
総数	63,412	60,493	263	2,806	233	690	48	496	803	353	159	113
入院	21,666	20,201	136	1,404	120	317	18	212	406	229	78	61
一般病床(再)	12,607	11,997	99	586	51	136	10	111	171	71	36	24
療養病床(再)	3,704	3,278	14	401	22	111	2	43	123	83	17	25
精神病床(再)	4,581	4,178	23	391	47	70	6	58	110	75	25	12
結核病床(再)	16	14	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-
外来	41,746	40,292	127	1,402	113	373	30	284	397	124	81	52

5 入院期間 (表14)

入院期間別に繰越入院患者数とその構成割合をみると、1日~14日が7,291人(当該患者総数の33.7%)で最も多く、次いで、731日以上が4,407人(同20.3%)と、この入院期間で全体の5割以上を占めている。

次に、病床別にみると一般病床は、1日~14日が6,703人(当該患者総数の53.2%)と最も多く、次いで、15日~30日が2,226人(同17.7%)、31日~60日が1,588人(同12.6%)と60日未満の入院患者が多いことに対し、精神病床は、731日以上が2,783人(当該患者総数の60.8%)と全体の6割以上を占め、入院期間が長くなっている。

表14 病床種別入院期間

(単位:人)

入院期間 病床種別	総数	入院期間												不詳
		1~14日	15~30	31~60	61~90	91~120	121~150	151~180	181~240	241~300	301~365	366~730	731日 以上	
総数	21,666	7,291	2,712	2,244	1,019	636	421	289	496	356	376	1,310	4,407	109
精神病床	4,581	158	131	200	122	99	94	72	144	104	120	542	2,783	12
感染症病床	10	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
結核病床	16	2	3	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
療養病床	3,704	210	253	359	246	231	153	128	239	157	186	560	976	6
医療型	3,552	208	247	352	244	226	150	126	232	151	183	520	907	6
介護型	152	2	6	7	2	5	3	2	7	6	3	40	69	-
一般病床	12,607	6,703	2,226	1,588	596	277	152	82	96	75	51	147	533	81

(単位:%)

入院期間 病床種別	総数	入院期間												不詳
		1~14日	15~30	31~60	61~90	91~120	121~150	151~180	181~240	241~300	301~365	366~730	731日 以上	
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
精神病床	21.1	2.2	4.8	8.9	12.0	15.6	22.3	24.9	29.0	29.2	31.9	41.4	63.1	11.0
感染症病床	0.0	0.0	0.0	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-
結核病床	0.1	0.0	0.1	0.4	0.2	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
療養病床	17.1	2.9	9.3	16.0	24.1	36.3	36.3	44.3	48.2	44.1	49.5	42.7	22.1	5.5
一般病床	58.2	91.9	82.1	70.8	58.5	43.6	36.1	28.4	19.4	21.1	13.6	11.2	12.1	74.3

(単位:%)

入院期間 病床種別	総数	入院期間												不詳
		1~14日	15~30	31~60	61~90	91~120	121~150	151~180	181~240	241~300	301~365	366~730	731日 以上	
総数	100.0	33.7	12.5	10.4	4.7	2.9	1.9	1.3	2.3	1.6	1.7	6.0	20.3	0.5
精神病床	100.0	3.4	2.9	4.4	2.7	2.2	2.1	1.6	3.1	2.3	2.6	11.8	60.8	0.3
感染症病床	100.0	20.0	10.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	-
結核病床	100.0	12.5	18.8	50.0	12.5	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-
療養病床	100.0	5.7	6.8	9.7	6.6	6.2	4.1	3.5	6.5	4.2	5.0	15.1	26.3	0.2
一般病床	100.0	53.2	17.7	12.6	4.7	2.2	1.2	0.7	0.8	0.6	0.4	1.2	4.2	0.6

6 救急患者

(1) 傷病大分類にみた救急患者数 (表15)

患者総数63,412人のうち、救急診療を受診した患者数は8,178人となっており、12.9%を占めている。

これを傷病大分類にみると、「循環器系の疾患」1,563人(救急診療患者総数の19.1%)、次いで「損傷、中毒及びその他の外因の影響」1,187人(同14.5%)、「呼吸器系の疾患」850人(同10.4%)の順になっている。

また、救急車を利用した患者数でみると、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が742人(救急車を利用した患者総数の23.9%)、「循環器系の疾患」が726人(同23.4%)となっており、両疾病で約5割を占めている。

表15 傷病大分類にみた救急患者数と構成割合

傷病大分類	患者数(人)			構成割合(%)		
	総数	救急診療あり		総数	救急診療あり	
		救急診療あり	救急車利用あり		救急診療あり	救急車利用あり
総数	63,412	8,178	3,102	100.0	100.0	100.0
I 感染症及び寄生虫症	1,168	245	103	1.8	3.0	3.3
結核(再掲)	47	6	5	0.1	0.1	0.2
II 新生物	6,087	604	169	9.6	7.4	5.4
胃の悪性新生物(再掲)	394	54	14	0.6	0.7	0.5
結腸及び直腸の悪性新生物(再掲)	788	92	18	1.2	1.1	0.6
気管、気管支及び肺の悪性新生物(再掲)	592	56	21	0.9	0.7	0.7
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	495	59	20	0.8	0.7	0.6
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,114	357	91	4.9	4.4	2.9
糖尿病(再掲)	1,807	224	28	2.8	2.7	0.9
V 精神及び行動の障害	6,525	278	53	10.3	3.4	1.7
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(再掲)	3,617	137	27	5.7	1.7	0.9
VI 神経系の疾患	2,649	283	143	4.2	3.5	4.6
VII 眼及び付属器の疾患	2,352	79	3	3.7	1.0	0.1
VIII 耳及び乳様突起の疾患	369	25	14	0.6	0.3	0.5
IX 循環器系の疾患	9,566	1,563	726	15.1	19.1	23.4
高血圧性疾患(再掲)	2,668	101	17	4.2	1.2	0.5
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	2,970	561	230	4.7	6.9	7.4
脳血管疾患(再掲)	3,288	793	434	5.2	9.7	14.0
X 呼吸器系の疾患	3,317	850	377	5.2	10.4	12.2
肺炎(再掲)	831	384	170	1.3	4.7	5.5
X I 消化器系の疾患	4,115	754	245	6.5	9.2	7.9
肝疾患(再掲)	351	78	26	0.6	1.0	0.8
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	1,426	109	25	2.2	1.3	0.8
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,128	433	113	8.1	5.3	3.6
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	5,288	526	153	8.3	6.4	4.9
X V 妊娠、分娩及び産じょく	536	125	13	0.8	1.5	0.4
X VI 周産期に発生した病態	134	52	11	0.2	0.6	0.4
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	302	19	9	0.5	0.2	0.3
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,524	232	82	2.4	2.8	2.6
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,926	1,187	742	6.2	14.5	23.9
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,530	307	2	7.1	3.8	0.1
不詳	861	91	8	1.4	1.1	0.3

(2) 救急患者の受療動向

ア 自足の状況 (図7・表16)

救急患者の自足率が50%以上の市町村をみると、結城市、水戸市、日立市、つくば市、境町が80%以上、牛久市など3市が70%以上となっており、自足率50%以上の市町村数は、14市町となっている。

また、自足率が50%に満たない市町村は、30市町村あり、そのうちかすみがうら市、鉾田市など6市村は20%未満となっている。なお、潮来市など8市町は、調査対象となる医療施設がないため、自足率は0となっている。

さらに医療圏別の受療状況をみると水戸保健医療圏が89.5%と最も自足率が高く、以下、日立保健医療圏が85.9%、取手・竜ヶ崎保健医療圏が84.4%の順となっている。

但し、県内医療機関で受診した患者を調査客体としているため、県外医療機関で受診した患者については考慮されていない点に留意されたい。

図7 自足率(救急患者)

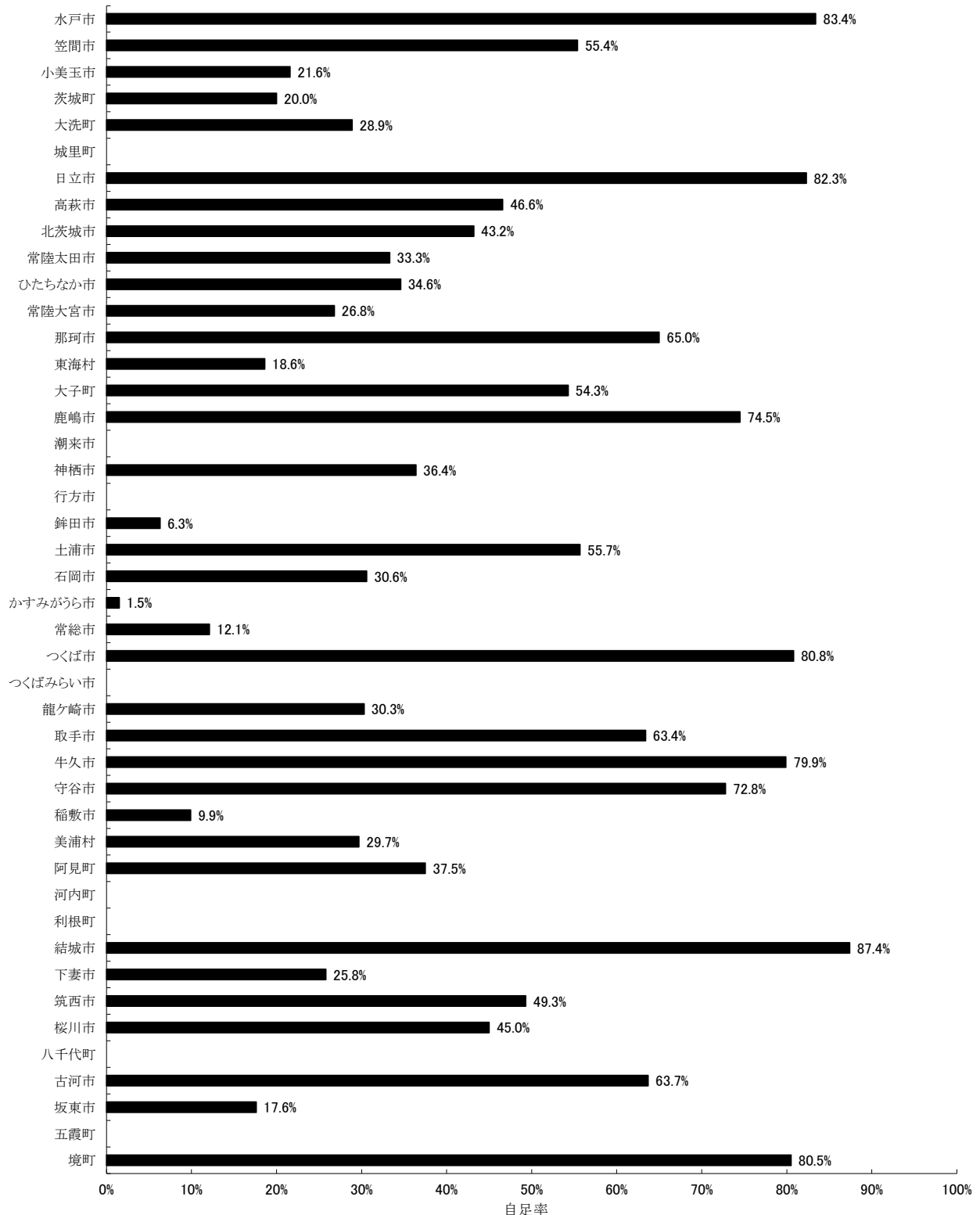


表 1 6 救急患者の医療圏別受療状況

【救急患者数】

(単位：人)

住 所 地	施 設 所 在 地									総 数
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	
水戸保健医療圏	1,656	9	114	7	50	9	4	1	-	1,850
日立保健医療圏	40	470	37	-	-	-	-	-	-	547
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	481	59	975	2	3	5	-	1	-	1,526
鹿行保健医療圏	115	1	11	430	86	11	8	-	-	662
土浦保健医療圏	44	-	1	2	326	77	64	-	-	514
つくば保健医療圏	7	-	-	-	24	543	133	7	2	716
取手・竜ヶ崎保健医療圏	10	1	2	2	56	70	764	-	-	905
筑西・下妻保健医療圏	13	-	-	-	7	150	5	424	14	613
古河・坂東保健医療圏	4	-	-	-	1	30	26	11	328	400
県内(市町村不詳)	52	-	8	-	-	6	13	-	-	79
県 内	2,422	540	1,148	443	553	901	1,017	444	344	7,812
県 外	31	15	32	38	15	24	52	59	94	360
住所地不詳	-	1	2	-	1	2	-	-	-	6
総 数	2,453	556	1,182	481	569	927	1,069	503	438	8,178

【自足率・依存率】

(単位：%)

住 所 地	施 設 所 在 地									総 数
	水戸 保健医療圏	日立 保健医療圏	常陸太田・ ひたちなか 保健医療圏	鹿行 保健医療圏	土浦 保健医療圏	つくば 保健医療圏	取手・竜ヶ崎 保健医療圏	筑西・下妻 保健医療圏	古河・坂東 保健医療圏	
水戸保健医療圏	89.5	0.5	6.2	0.4	2.7	0.5	0.2	0.1	-	100.0
日立保健医療圏	7.3	85.9	6.8	-	-	-	-	-	-	100.0
常陸太田・ひたちなか保健医療圏	31.5	3.9	63.9	0.1	0.2	0.3	-	0.1	-	100.0
鹿行保健医療圏	17.4	0.2	1.7	65.0	13.0	1.7	1.2	-	-	100.0
土浦保健医療圏	8.6	-	0.2	0.4	63.4	15.0	12.5	-	-	100.0
つくば保健医療圏	1.0	-	-	-	3.4	75.8	18.6	1.0	0.3	100.0
取手・竜ヶ崎保健医療圏	1.1	0.1	0.2	0.2	6.2	7.7	84.4	-	-	100.0
筑西・下妻保健医療圏	2.1	-	-	-	1.1	24.5	0.8	69.2	2.3	100.0
古河・坂東保健医療圏	1.0	-	-	-	0.3	7.5	6.5	2.8	82.0	100.0
県 内	31.0	6.9	14.7	5.7	7.1	11.5	13.0	5.7	4.4	100.0
県 外	8.6	4.2	8.9	10.6	4.2	6.7	14.4	16.4	26.1	100.0

イ 依存の状況 (表 1 7)

特定の市町村への依存率の高い市町村をみると、かすみがうら市から土浦市への依存率が76.1%と最も高く、次いで、城里町から水戸市への依存率が71.9%、潮来市から鹿嶋市への依存率が70.9%、常総市からつくば市への依存率67.4%、下妻市からつくば市への依存率が65.6%の順となっており、特定の市町村への依存率が30%を超える市町村は27市町となっている。

表 1 7 特定の他市町村への依存率が高い市町村

(単位：%)

特定の市町	依存率が30%以上の市町
水 戸 市 (6)	城里町(71.9) 茨城町(59.1) 大洗町(40.0) 常陸大宮市(36.1) 笠間市(33.7) ひたちなか市(33.7)
日 立 市 (2)	高萩市(41.4) 北茨城市(36.9)
鹿 嶋 市 (3)	潮来市(70.9) 神栖市(53.8) 行方市(30.2)
土 浦 市 (3)	かすみがうら市(76.1) 石岡市(37.5) 行方市(32.1)
つ く ば 市 (4)	常総市(67.4) 下妻市(65.6) 八千代町(50.0) つくばみらい市(38.5)
龍 ヶ 崎 市 (2)	河内町(46.7) 利根町(32.5)
取 手 市 (1)	利根町(30.0)
牛 久 市 (1)	龍ヶ崎市(34.8)
守 谷 市 (2)	坂東市(35.3) つくばみらい市(32.3)
筑 西 市 (1)	五霞町(50.0)
古 河 市 (1)	五霞町(50.0)
境 町 (1)	古河市(30.1)